

はじめてのスペイン語講座

第11回 未来を表す言い方

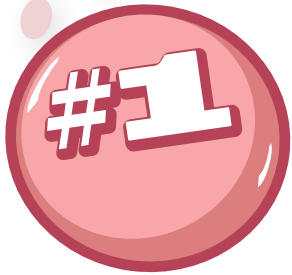


Hola. みなさん、こんにちは!

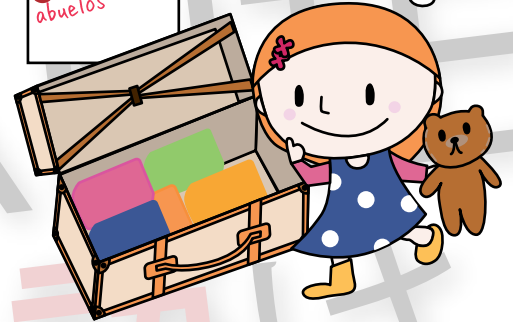
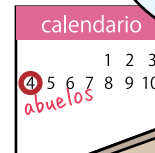
今回は、未来を表す言い方についてご紹介したいと思います。

未来を表す、すなわちまだ起こっていないことを表現する場合には、その未来がどのような性質を持っているかによって、その表現方法は変わってきます。より具体的に言うと、明日予定していること(起こる可能性が非常に高い事)と、遠い未来のこと(起こるかどうかが確実でない事)では、同じ未来でも表し方が変わります。

この課では、未来を表す表現を学び、その使い分けもあわせてみていきましょう!



- ① まずは、動詞IRを使って未来を表す形をご紹介します。どのような場合に使うかは、後ほど詳しく説明しますが、この方法では、比較的近い将来の予定・行動を表す事ができます。
- この方法であれば、動詞を一つ一つ活用する必要がないので、活用の煩わしさがありません。今夜、明日、来年する予定の事柄についてこの形をどんどん使って表しましょう。



PRENDE! 覚えましょう!

未来を表す「主語は～するつもりです。」の構文

[主語 + ir + a + 動詞の原形.]

主語に応じて
活用させる

主語が変わっても変化なし

例) では、練習として、今夜、友人と出かける予定について話してみましょう。

	yo	voy	
	tú	vas	
Esta noche,	él / ella / usted	va	+ a + salir con unos amigos.
	nosotros	vamos	(数人の)友達と出かける
	vosotros	vais	
	ellos / ellas / ustedes	van	

Mañana, Miki va a visitar a sus abuelos.

明日、ミキちゃんはおじいちゃんたちを訪ねます。

- ② 次に学習するのは、未来形の活用です。未来形は、不規則活用は若干あるものの、現在形と違い原形が<-ar>、<-er>、<-ir>のいずれで終わる場合でも、活用はワンパターンですので、比較的覚えやすいのが特徴です。



PRENDE! 覚えましょう!

未来形の活用を行う場合、動詞の原形の後に、主語に応じて、それぞれ<-é>、<-ás>、<-á>、<-emos>、<-éis>、<-án>を付ければ出来上がります。以下の活用例を参照して下さい。

例)

〈動詞IRの未来形活用〉

yo	iré
tú	irás
él / ella / usted	irá
nosotros	iremos
vosotros	iréis
ellos / ellas / ustedes	irán

未来形の場合には、ほとんどが規則動詞になりますので、不定詞+未来形の活用語尾で活用できます。但し、不規則動詞は3パターンありますので、右を上を参照して下さい。

不規則パターン① <HACER→HARÉ>
作り方:HACERのC(語幹の最後の文字)とE(語尾の最初の文字)を取って、**未来形の活用語尾**を付ける。

その他に類似の活用をする動詞:
<DECIR→DIRÉ>*但しDECIRの場合は、語幹のEが更Iに変化するので注意!

不規則パターン② <TENER→TENDRÉ>

作り方:TENERの2つ目のE(語尾の最初の文字)をDに変化させて**未来形の活用語尾**を付ける。

その他、同じ活用をする動詞:
<VENIR→VENDRÉ>、<SALIR→SALDRÉ>
<PONER→PONDRÉ>

不規則パターン③ <SABER→SABRÉ>

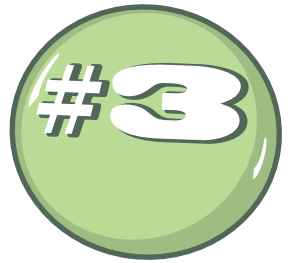
作り方:SABERのE(語尾の最初の文字)を取って**未来形の活用語尾**を付ける。

その他、同じ活用をする動詞:
<PODER→PODRÉ>、<QUERER→QUERRÉ>

En el 2050, viajaremos a la luna.

西暦2050年には、
私たちは月へ旅行するだろう。





③左のページでは、[ir + a + 動詞の原形]と、[未来形の活用]という2つの形式を学びました。おそらく、皆さんが疑問に思われる点というのは、二つの使い分けではないでしょうか？冒頭でも、少し触れたように、使い分けのカギとなるのは、「未来に起こる事柄の確実性」です。

例えば、一般的に[ir + a + 動詞の原形]を使う場合は、

- ① 予定について話したり、自分の意思を表す
- ② 周りの状況から、起こる確率がきわめて高いと考えられることを表す

[ir + a + 動詞の原形]を使う場合は、直後に起こる事について使うか、いつ起こるかがわかっていることが多いので、「esta noche(今夜)」、「mañana(明日)」、「el año que viene(来年)」などと一緒に使われることが多いです。

これに対して、[未来形の活用]を使う場合は、

- ① 未来のいつかに起こる可能性があること
- ② 未来のことを予言するとき

★[ir + a + 動詞の原形]を使う時

右の絵は、今日の午後の予定を尋ねている場面です。左の女性の手には、展覧会のチケットが握られており、彼女はその後展覧会に行く可能性がとても高いことがわかりますね。こういった場合は、上の①「予定について話したり、自分の意思を表す」に当てはまるため、[ir + a + 動詞の原形]を使います。

また、このように「いつ」、「何をするか」が明確な予定は、以下の様に現在形を使って表すこともできます。

Voy a la exposición de El Greco esta tarde.

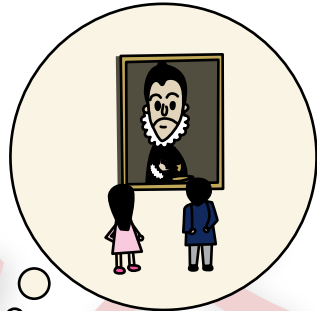
(今日の午後は、エル・グレコ展に行くつもりです。)

[ir + a + 動詞の原形]は、以下のような場合にも使われます。

Hay mucho atasco. Vamos a llegar tarde.

(ひどい渋滞です。私たちは遅刻するでしょう。)

この場合は、「ひどく渋滞している」という状況から、高い確率で「遅刻すること」がわかるので、②「周りの状況から、起こる確率が高いと考えられることを表す」に当てはまります。



¿Qué vas a hacer esta tarde?

あなたは今日の午後何をする予定ですか？

Voy a ir a la exposición de El Greco.

エル・グレコ展に行くつもりです。

★[未来形の活用]を使う時

次は、「未来形の活用」について見ていきましょう。

上でも説明したように、「未来形の活用」は一般的に、起こるかどうかわからない未来を表す場合に使います。

右の絵は、スペインが大好きなマリさんの、「スペインへ旅行する明確な予定はないけれど、いつか機会があれば行きたいな」といったニュアンスを表します。

また、こんな使い方もあります。

¿Sabes cuántas personas van a venir a la fiesta de Navidad, mañana?

(明日のクリスマスパーティーに何人の人が来るか知っていますか？)

No sé. Pero quizás vendrá mucha gente.

(知りませんが、多分たくさんの方がくるでしょう。)

この様に、確実ではない予想を伝える場合に使ったりします。逆にも同じ質問に対して正確に何人来るかを知ってれば、

Sí, trescientas personas van a venir a la fiesta.

(はい、パーティーには300人来ます。)

と、言っても良いでしょう。



Algún día, viajaré a España.
いつかスペインへ旅行します。

例外

たとえ明確な予定の無い場合でも、[ir + a + 動詞の原形]を使って以下の様に言うこともできます。
Algún día, voy a viajar a España.
ただし、この場合には、自分の強い意志を込めているので、「いつか絶対スペインへ旅行する!」といったニュアンスになります。

今回見てきたことから、未来のことを表す場合には、「ir + a + 動詞の原形」、「未来形の活用」そして「現在形」の3つを使える事がわかりましたね。

未来の種類や話し手の気持ち次第で、使い分けられる未来形は、最初は複雑に感じるかもしれませんが、また、3つの使い分けには、時として曖昧な場合も見受けられます。実際に使ってみたり、また他の人が使っているのを聞くことによって、使い分けに慣れて来るはずですよ。是非使ってみてくださいね!



un descanso....

今回は未来形の活用を学習しましたが、実は未来形の活用を使って表す事ができるのは、未来だけではなくありません。せっかく未来形の活用を使えるようになったので、是非その他の用法についても覚えておきましょう!

未来形の活用を使うと、①【現在の推量】と②【命令】の2つを表すことができます。

①【現在の推量】について

¿Cuántos años tiene José? 『ホセは何歳ですか?』

Hmm. No sé. **Tendrá** 40 años. 『う〜ん。知らない。40歳くらいかな。』

※この例文の場合、ホセさんが現在40歳くらいであることを推量しています。

¿Dónde están tus padres ahora? 『あなたの両親は今どこにいますか?』

Ahora, **estarán** en Madrid. 『今は、マドリッドにいるでしょう。』

※現在の推測ですので、未来形の活用とAhoraを同じ文章の中で使っても、問題ありません。

②【命令】について

Me **dirás** a qué hora empieza la conferencia. 『講演が何時に始まるか教えて下さい。』

Te llamarás y escucharás bien lo que te dice la profesora.

『黙って、先生のいうことを良く聞きなさい。』

※命令の意味合いで使う未来形の活用は、主に口語のみで使われます。

一つの活用形でも、使い方によって様々な意味合いを持つ、命令形の活用。実際にどんどん使ってみれば、使い方も身に付いてきます。まずは練習あるのみ!頑張ってくださいね。



- 一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベートなど目的やベースに合わせて選べるコース
- ネイティブ講師だからプチ留学気分です。自然なスペイン語がマスターできる!
- 振替ができるので忙しくても安心!
- 月謝払いOK!
- 無料体験レッスン、教室見学等☆随時受付中
- 2013年1月よりプライベートレッスンのみ日曜予約可

スペイン語教室 ADELANTE

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F

TEL: 06-6346-5554 • FAX: 06-6110-5122

E-mail: info@adelante.jp • http://www.adelante.jp

イラスト：田中 文子